

2006.10.21

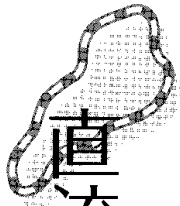


▲「新快速」と視まれる223系電車

▲電化方式の違いが大きな壁に
湖北の人たちが四半世紀にもわたって、懸命に直流化を求め続けてきたのはなぜか。京阪神との交流を促進するために、直流が必要だったからだ。これはアイロニーではない。直流化こそ、湖北の悲願だったのだ。そして、いまそれが実現しようとしている。この秋、北陸本線と湖西線の一部が直流電化になり、長年の夢がかなうのだ。

そう、JRの電化方式の話なのだが、そもそも交流と直流の違いとはなんだろう。簡単に言うと、一般家庭に來ている電気は交流で、電池などは直流。だから、交流の方が高い電圧を送ることができる。電車の場合もいっしょで、普通は直流が千五百ボルトで、交流は二万ボルトの電流が流れている。新幹線は、高出力が必要とするから二万五千ボルトの交流だ。

しかも、交流は大きな電力を遠方にまで送電できるから、変電所の間隔を長くでき、送電時のロスも少ない。それなら、交流の方が優れているのかというと、デメリットもある。電車に変圧器や整流器などを搭載する必要があるから、車両がデカくなり値段も高くなるのだ。



直流化で琵琶湖環状線いよいよ運行

特集 B 列車で行こう!

iwako



▲下校時の木ノ本駅ホーム

電車が駅に着いた。
初めてのホームに降りたわたしは
出口に向かう。

コンコースの人の波を泳いだり、
薄暗い通路をくぐったり、
跨線橋の高い空から、空模様をうかがったりしながら…。

改札を通り抜け、
駅舎の前の風景が視界に広がったとき、

駅は
出口から入口に変わっている。

ここから始まる
このまち巡りの小さな旅。
わたしはまだストレンジャー…。
ここから始まる
このまち巡りの小さな旅。
わたしはまだストレンジャー…。

食を通して、
すてきな時間をあなたに

社員食堂、お弁当、
会議食、運動会や
イベント時のお食事、
パーティーオードブル、
etc. お問い合わせ下さい



湖北：Tel 0749(62)0692
湖東：Tel 0749(42)2373

今津のまち散策マップ



TORI MOKUZAI CO.LTD

住む人の心に響く木の香り

鳥居木材株式会社

〒526-0828 長浜市加田町1560
 TEL (0749) 62-5255 (代)
 FAX (0749) 62-5237
 URL <http://www.torimokuzai.co.jp/>

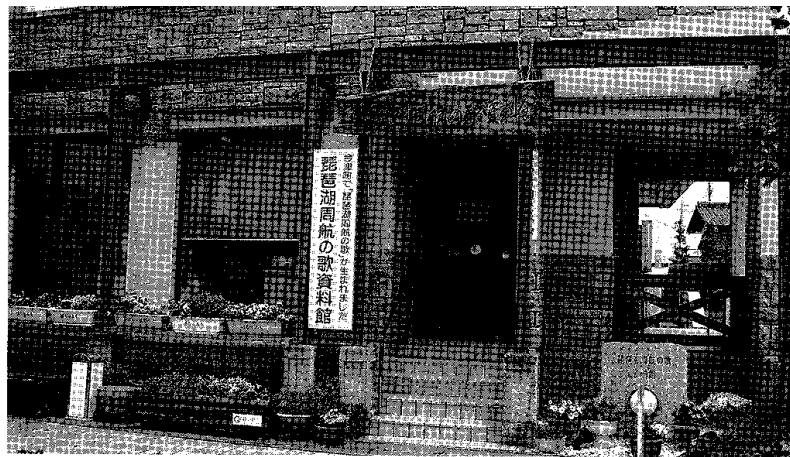
次は、港から湖岸に沿って旧街道を北へ歩こう。こちらへが今津イチ押しの人気エリア。ウナギの蒲焼きと鮎の塩焼きの匂いに誘われて、魚清さんというお店に自然に入ってしまう。古い旅館があったり、湖上安全を守る住吉神社があったりと、今津の歴史漂うレイクサイドストリートだ。

今津港から五百メートルほどで、ヴォーリス通りと出会う。この通りは、今津の近代を拓いた建物が残るストリート。西へ向かうと、建築家ヴォーリスの設計した建物が三棟現れる。旧銀行建築である今津ヴォーリス資料館、キリスト教会、そして旧今津郵便局。ヴォーリスの建物がこれだけかたまって残っているのは、彼が住んだ近江八幡以外はめずらしい。この通りには、西友さんという湖魚の専門店がもうひとつ。せいでなく、にしも」と読む。こちらのウナギもうまいと評判のようだ。今津へ来たら、ウナギとアユはぜひ買って帰ろう。

(四)

ウナギとアユを焼く匂いが漂う町

近江今津駅



▲「われ〜はう〜みの〜こ〜り」のメロディはここから聞こえてくる。琵琶湖周航の歌資料館



▲棧橋のたもとに琵琶湖周航の歌の記念碑が立つ今津港



▲今津町観光協会は資料館の中。笑顔で迎えてくれた井口寛子さん、吉本真代さん、村井佳子さん(左から)



▲湖辺の道沿いを行くといい香りが…。湖魚専門店「魚清」さんの店先で

駅から湖まで、分

さすが琵琶湖周航の歌誕生の地。駅を降りると、「今日は今津が長浜か！」という聞き慣れたメロディが、どこからともなく流れてくる。今津港は、音楽の聞こえてくる方向へ進めばいい。湖西線は高架になっていて、駅も線路の下にあるから東西どちらへも出られる。琵琶湖周航の歌が流れてくるのは、びわ湖側、

つまり駅から東方面だ。今津港は駅から歩いて二、三分。ずいぶん近い。実は、音楽が流れているのは手前にある琵琶湖周航の歌資料館。この歌を

作詞した小口太郎と作曲した吉田千秋のことや、歌の誕生秘話などがわかる。今津町観光協会の事務所にもなっていて、同協会の吉本真代さんら三人の女性が町の紹介をしてくれる。「町の自慢は？」と伺うと、「自然がたたくさんあって、水がおいしいこと」と吉本さん。

カウンターに「千尋」というラベルの付いたペットボトルが置いてある。最近売りだされた商品で、「限りなく広い森が育てた天然水」がキャッチコピー。

駅周辺には、港町として栄えた昔の面影が残っているし、周辺にはザゼンソウの群生地や、カキツバタやシヤクナゲが咲く高原の池などもある。

「最近、家族でレンタサイクルを使って、町を巡る人が多いですね」と吉本さん。

レイクサイドからヴォーリス通りへ

町の概要がわかったら、まず目の前の今津港へ行ってみよう。棧橋のたもとに、琵琶湖周航の歌の記念碑が立っていて、竹生島がすぐ近くに見える。ここから竹生島への遊覧船が、日に四便出ている。

●今津町観光協会
 TEL 0740-22-2108

●琵琶湖周航の歌資料館
 TEL 0740-22-2108